

令和5年度 ミニ・キエーロモニター事業 アンケート結果

第1 事業目的

使用者からの記録や意見を取りまとめることで、キエーロの有効性を検証するとともに、家庭から排出される生ごみの減量化を図ること

第2 モニター事業概要

ミニ・キエーロを1か月間使用してもらい、使用した記録とアンケートを提出してもらうもの

第3 調査の概要

(1) 調査対象

令和5年4月～10月の期間において、モニター事業に申し込んだ者

(2) 対象者数

134人

(3) 回収結果

| 回答者数* | 未回答者数 | 回収率 |
|-------|-------|-------|
| 86人 | 48人 | 64.2% |

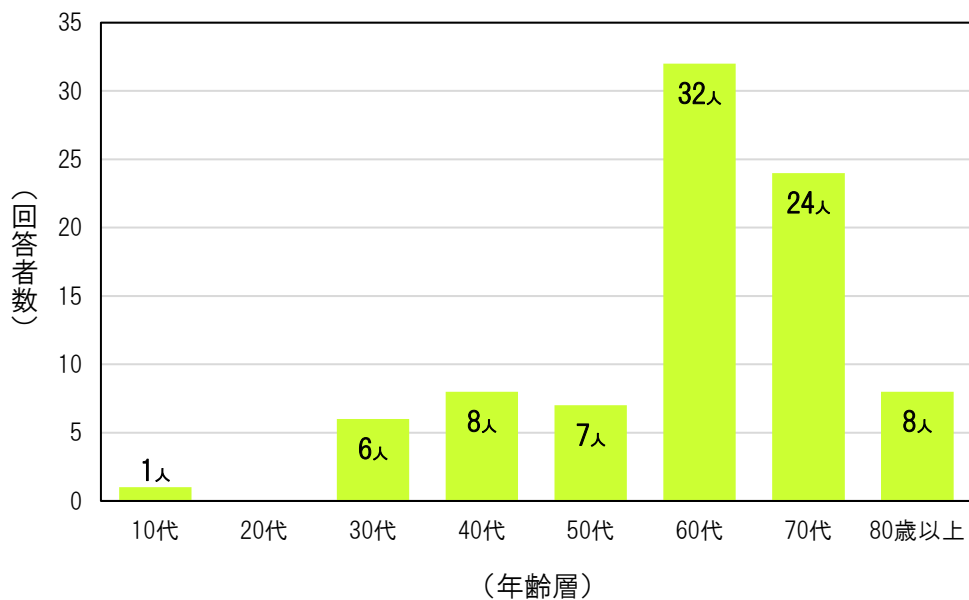
*…令和5年11月末までに回答した人数

第4 結果の見方

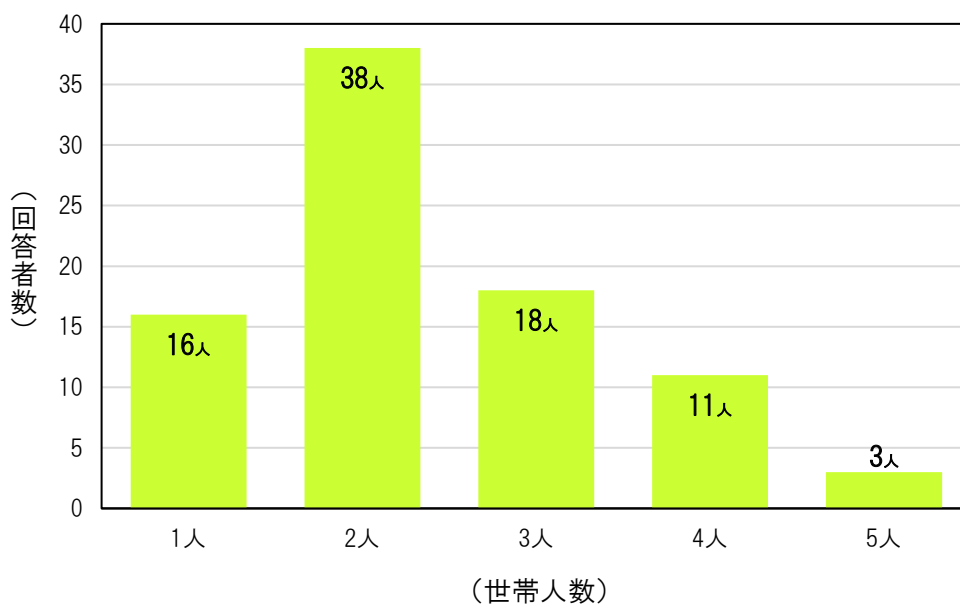
調査結果の比率は、回答者数を母数とした百分率(%)で表しています。小数点第2位を四捨五入しているため、個々の比率の合計が100.0%にならないことがあります。

第5 調査結果

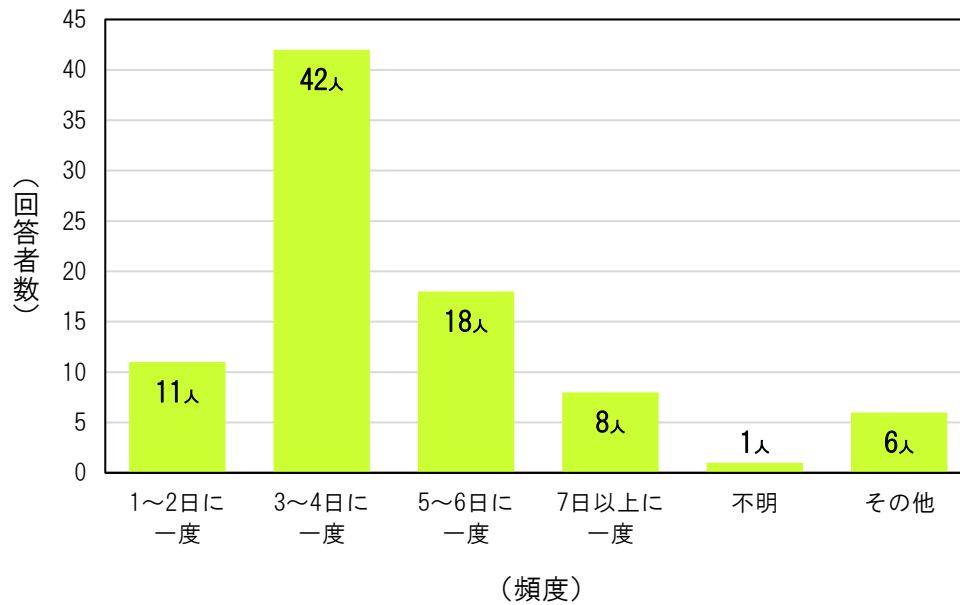
1 利用者（申込者）の年齢層について



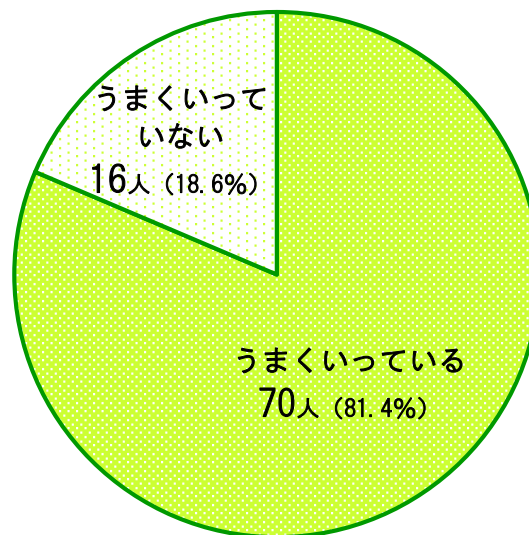
2 世帯人数について



3 生ごみを投入する頻度について

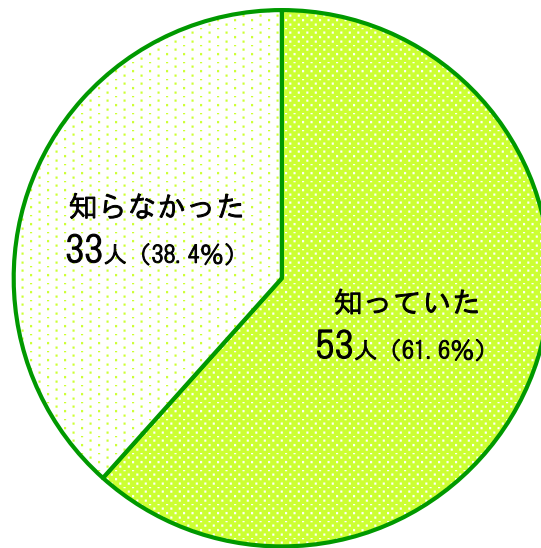


4 現在のキエーロの処理状況について

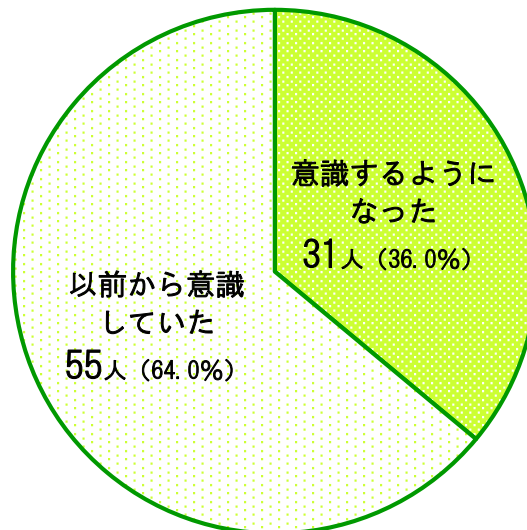


| うまくいっていない理由 | | | |
|-------------|-----|--------|----|
| ※複数回答可 | | | |
| ・手間がかかる | 8人 | ・臭いがでる | 3人 |
| ・分解しない | 11人 | ・虫がわく | 3人 |

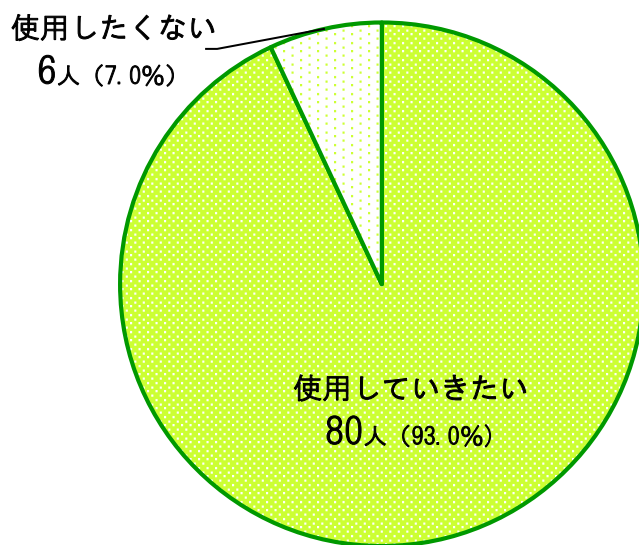
5 キエーロの認知状況について



6 ごみ減量化に対する意識について



7 今後の使用予定について



〔使用したくない理由〕

- ・ 1人暮らしのため生ごみが少ない
- ・ 冬期間の置き場所がない
- ・ 忙しいと面倒になる
- ・ 分解しにくいいためコンポストに切り替える
- ・ 虫がわき、臭いがした

8 感想・意見

●良かったところ

- ・ においも少なく、残飯が消滅するので孫も不思議がり楽しめた。
- ・ 料理に使った油が処理できるのが非常に助かった。
- ・ 生ごみの多くをキエーロで処理できるので、燃やせるごみの重量が減って、ごみ出しが楽になった。
- ・ ごみの減量化を意識していたためか、生ごみが少なくなり、キエーロに入れる量が減った。とにかく楽しく（実験気分）できた。
- ・ 生ごみは自然に分解され、においに困ることもなく、とても気持ち良い。また、ごみの減量化を意識するようになり、食品トレーをスーパーの回収に出すことにした。その結果、燃えるごみの量が格段に少なくなった。
- ・ 生ごみを捨てるストレスがなくなった。

●悪かったところ

- ・キエーロに入れる生ごみが限定される。
- ・土を混ぜる時に臭いが気になる。
- ・日中の温度が20℃以上にならないと分解しないので寒い時は使えなかった。

●工夫したところ

- ・生ごみをフードカッターで細かく粉砕してから投入した。
- ・果物の皮、じゃがいも、にんじん等の皮は2～3分レンジで温めた後冷ましてから入れた。
- ・生ごみを乾燥させてから入れると分解が早かった。
- ・深めに穴を掘った。上にかぶせる土が少ないと小バエが寄ってくるので、かぶせた後に、土を移植ベラでパンパンと押してならした。

9 まとめ

- ・利用者（申込者）の平均年齢は64歳、平均世帯人数は2人だった。
- ・キエーロを「今後は使用したくない」と回答した方でも、コンポストや電動式生ごみ処理機といった他の方法で生ごみの減量に引き続き取り組む旨の報告もあり、ごみ減量に対する意識の高さがうかがえた。
- ・分解が遅いと分かった生ごみでも、次回入れる際は細かく刻んだり熱を通したり、一工夫加えている方が多かった。キエーロに主体的に取り組んでいる姿が見受けられた。
- ・キエーロをきっかけに、生ごみだけでなく、ごみそのものへの減量意識が芽生え、スーパーの民間回収を利用した等、行動変容に繋がった方もいた。